

【一般質問】 6月9日(木)、10日(金) 午前9時～

質問順位	会派名 (質問制限時間)	質問者	質問項目
1	いなべ未来 (120分)	位田まさ子	<p>1.各福祉センター管理運用について</p> <p>(1)員弁老人福祉センターの運賃について 本年度から土、日曜日の利用の際は、利用団体を所管する市役所の担当課がカギを開けて利用するという非常に使用しづらい状態となった。土、日曜日も平日のような利用ができないか、センターの運用について対応は。</p> <p>(2)北勢福祉センターの今後について、長寿命化計画を策定するため、令和3年度に実施した建物調査の結果と今後の計画は。</p> <p>(3)員弁健康センターについて、令和6年5月までに譲渡又は解体の判断が迫られているが、その計画は。</p> <p>2.福祉の取組について</p> <p>(1)聴覚障がいのある方には、手話ができる人を増やす必要があり、手話ができない人や難聴の人には文字で伝える要約筆記をする人の育成が求められている。そこで、コミュニケーションを支援するための人材育成について尋ねる。</p> <p>(2)知識の80%が目から入る情報であると言われ、視覚障がい者にとっては、日常生活に困難を感じる。そこで情報提供及び福祉サービスの提供についてを問う。</p> <p>(3)桐林館では、筆談やジェスチャーで会話する筆談カフェがオープンし、聞こえないという世界を体験することで、聞こえないのが「他人事」ではなく、「我が事」となる体験をしているが、小、中学生に対する手話などの普及啓発活動に対する考えは。</p> <p>3.いなべ市の図書館について</p> <p>(1)各町図書館の利用状況の推移と、コロナ前と現在で利用者数に変化は。</p> <p>(2)各町図書館利用者の要望で多くあるものは。</p> <p>(3)各町図書館の蔵書状況は。</p> <p>(4)各町図書館に特色を持たせているが、員弁図書館の特色は。</p> <p>(5)員弁図書館に学習室を設ける考えは。</p>
2		渡辺 一弘	<p>1.防災対策と危機管理について</p> <p>(1)「緊急防災・減災事業」について、国のほうでは、対象事業費を拡充しているが、いなべ市として具体的な計画はあるのか。</p> <p>(2)いなべ市防災ガイドブック配布後の市民への活用は。</p> <p>(3)市民の協力を得て、防災倉庫を使用した「避難所での感染対策」も考慮した「避難訓練・防災訓練」を、地域おこし企業人などを活用して実施されてはどうか。</p> <p>2.東海環状自動車道について</p> <p>(1)愛知、岐阜を結ぶ「東回り」は約20年も前に整備されており、全国でも非常に発展した工業地域として活力ある街として発展しているが、これから「西回り」が整備され、全線開通を機に、いなべ市における地域開発計画など、どのように進められていくのか。また具体的な計画はあるのか。</p> <p>(2)インターチェンジと一般道路の接続に当たっては、交通安全対策を十分考えたうえでの拡幅等の計画はあるのか</p> <p>3.三岐鉄道・北勢線について</p> <p>(1)いなべ市が北勢線の運行に対し、毎年支出する補助金の額と、これまでに支出した補助金のトータルの金額は。</p> <p>(2)今後の見通しについて、いなべ市としての見解は。</p>

質問順位	会派名 (質問制限時間)	質問者	質問項目
3	創風会 (60分)	伊藤 智子	<p>1.いなべ市の食育について (1)子どもたちへの食育の取組みと課題は。 (2)学校給食における栄養教諭の配置は。 (3)給食費無償化の見通しは。 (4)食育について子どもの将来に繋がる体験学習は。 (5)食物アレルギーのある児童・生徒への対策は。 (6)地産地消のため工夫している事は。</p> <p>2.いなべ市の農業推進について (1)食料自給率アップのために市として取組んでいる事は。 (2)農業従事者を増やすために行っている事は。 (3)農業関係の企業誘致等の推進は。 (4)いなべ市の素晴らしい自然と気候と田畑の環境を活かし、若者が生業として農業を選択する環境を整える事は、定住・移住者を増やし、少子化を食い止め、食料の増産に繋げ豊かな安心して暮らせるいなべ市を目指す事になると考える。将来を見据えた対策として、どのようなものがあるか。</p>
4		岡 恒和	<p>1.いなべ市の「地方創生事業」を再度問う (1)キャンプ場関連の関連事業費及び総事業費等について (2)宇賀采キャンプ場整備事業について (3)野遊び事業(農業公園キャンプ場整備事業)について (4)事業利益について (5)市所有財産の貸し付けについて</p>
5	日本共産党 いなべ市議団 (90分)	衣笠 民子	<p>1.阿下喜温泉 (1)令和4年3月定例会追加議案質疑の市長答弁で「(阿下喜温泉は)もともと合併する前に北勢町が温泉を掘って、市になって温泉を利用しなさいということだった」と言っているが、誰が「温泉を利用しなさい」ということだったのか。 (2)合併直後、阿下喜温泉事業を進めるにあたって、新市建設計画やいなべ市総合計画には当時どのように位置づけていたのか。 (3)指定管理料の負担を問題にしているが、平成16年9月定例会答弁でもあるように「温泉事業は商業目的では採算性が合わないから福祉へ転換とあり、もともと運営に税金を投入する前提だが、それでも市民にとって必要と認識して提案し、進めてきたのではなかったのか。 (4)国の地方創生事業は、民間業者とセットでリスト化されていないのか。</p> <p>2.下水道 (1)令和4年度施政方針 歳出予算 1安全で安心な日常 1-9【下水道使用料金の見直し】に「いなべ市の下水道の使用料単価は公共下水道112.63円/m³、…県内他市の公共下水道の平均167.25円/m³と比較して非常に安価です」とあるが、県内他市の公共下水道の平均167.25円/m³を算出した元となる県内他市の公共下水道の使用料金ほどのようになっているのか。 (2)県内他市の公共下水道使用料単価の平均と比べて安価ではないのか。</p> <p>3.個を大切に社会へ (1)「生理用品がトイレトペーパーのように当たり前前に備え付けてある社会へ」ということで、今年2月から中学校で早速実施された。中学校での生徒、教師の反応は。 (2)小学校でも広げていきたいとのことだったが、小学校での実施状況は。 (3)公共施設トイレでの実施は。</p>

質問順位	会派名 (質問制限時間)	質問者	質問項目
6	無会派 (45分)	篠原 史紀	<p>1.市民の暮らしが豊かになるための地域経済の活性化策を (1)いなべ市の産業構造から地域経済の課題を議論する。 (2)疲弊する伝統的産業の農業振興策を問う。</p> <p>2.障がい者とその保護者が安心・安堵して暮らせるために (1)市内の障がい者の保護者からグループホーム拡充を望む声を多々聴く。市は、今まで、現状やニーズの把握(公聴)をどのように行ってきたか。また、現在、把握している現状やニーズに関して具体的な内容の説明を。 (2)今年度の施政方針で、さらに障がい者のグループホーム拡充の方針が示されたが、具体的な事業スキームは。また、ニーズに対しての設置目標数はあるか。 (3)我が子の将来への不安を大いに抱える高齢保護者を中心に、行政に頼らず、自分たちでグループホームを作ることを検討し始めている方々もいる。民間主導で新たなグループホームをつくる場合、行政ができる具体的な支援は、どのようなものがあるか。</p>
7	無会派 (45分)	西井 真理子	<p>1.小規模事業者・中小企業を支援する体制について (1)市が発致してきた事業で、商売を始めるまでに費やした予算は。 (にぎわいの森、宇賀采、野遊び(現時点での想定)、阿下喜温泉(現時点での想定)) (2)にぎわいの森各店舗の賃貸借の状況(各店舗の賃貸収入、光熱水費の状況) (3)これまでの説明で、「市民が事業に乗ってきてくれないと、効果が出ない」との発言があったが、事業に乗ってもらうための説明会は、どのように広報し、参加者数はどうであったか。 (4)小規模事業者・中小企業を支援するために、商工会と連携して取り組んでいることは。 (5)ビジネスサポートセンター的な機能を持つ考えは。</p> <p>2.教育環境の改善と充実を求める (1)先生と生徒の信頼関係の構築がされているのか。 (2)生徒の自己肯定感を伸ばすためにどのような取り組みをしているか。 (3)校則の制定、改正はどのように行われているか。保護者から意見を聞く機会はあるのか。 (4)保護者からの要望や意見は、学校、教育委員会でどのように取り扱っているか。また、保護者へどのように返しているか。 (5)学校へ復帰するために、生徒へどのようにアプローチしているか。</p>